
俺の本当の気持ち

SHIN

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

俺の本当の気持ち

【Nコード】

N7143Y

【作者名】

SHIN

【あらすじ】

公立の高校に通っているごく普通の少年、小坂大輔は北條理香に恋心を抱いていた。そして高校生活最後の歳を迎えて大学受験というものを体験する歳になった。幼なじみの木下ほのかをはじめとする大輔達仲良し組はどうやって学校生活をおくるのか。

この作品は初めてのオリジナルなのでどうか暖かい目で見守ってやってください。

始まり（前書き）

登場人物

小坂大輔

高校三年生

バスケット部のキャプテンでただいま恋愛中

木下ほのか

高校三年生

大輔の幼なじみでいつも一緒に学校に来ている

北條理香

高校三年生

バスケット部のマネージャー

とりあえずのキャラ紹介です。学校の仲良し組は次に紹介することになります。

亀更新になると思いますよろしくお願いします。

始まり

「今日こそは告げてやる俺のこの思いを」

そう言つて少年は桜の木の影から出て、少女の前に立った。

少女は始めは驚いたもののその少年が顔見知りであることがわかりホッとしたようで口を開いた。

「あらこんな朝早くからどうしたの？」

少女の顔がほんのり紅くなっていた

「あっああ、ちょっと伝えたいことがあつてな」

だがそれ以上に少年の顔は紅かった

「伝えたいこと？」

「うん。好きです。俺と付き合ってください。」

「ほっ本当に！？嬉しい実は私もなの」

「本当なのか！！？よっしゃーーーーー」

ピピピピピ

目覚まし時計が無情に朝がやってきたと主張している。

少年、小坂大輔はその音に朝の幸せな時を奪われてしまった。

「なんだ。さっきのは夢だったのか」

大輔は体を起こし制服に着替えだした。

「まあそりゃそうだよな。北條さんが俺のことなんか好きになるわけがないし」

大輔が朝から感傷に耽っていると

「大輔、早く降りていらっしやい。早く準備しないとほのかちゃん
が来ちゃうよ」

「ああわかってるよ。今行く」
「まったく言われなくてもわかってるっての

ドタドタと階段を降っていきリビングにでた

「まったく今日から三年生が始まるってのにだらし無いつたりやあら
しない」

「おはよう、大輔」

「お兄ちゃん、おそいよ」

家族のそれぞれが朝の挨拶をつける

「おはよ。とりあえず顔洗ってくるよ」

大輔が戻ってくる頃にはトーストと目玉焼きが机の上に置いてあった

「いただきます」

「早くしないと本当にほのかちゃん来ちゃうわよ」

ピンポン

「ほらみなさい」

ゴクン

「わかってるよ。それじゃ行ってきます」

そうして小坂大輔の高校三年生としての生活が始まっていた。

始まり（後書き）

読んでいただきありがとうございました。

グダグダで申し訳ないです（汗）

感想、アドバイスなどあればお願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7143y/>

俺の本当の気持ち

2011年11月21日12時06分発行